

学外学修センター NEWSLETTER
Off Campus Times

～・・・～	
目次	
編集部より.....	P1
学外学修の活かし方～就活編～.....	P1
3年生ぶっちゃけ座談会.....	P3
～・・・～	

～編集部より～

学期末試験も終わり、春休みがやってきましたね。皆さんはどのように過ごすか決めましたか？就職活動が始まる人もいれば、アルバイト、旅行と長期間の休みを活かした活動を計画している方も多いと思います。まだ決めていないけれど何かしたいという方もいるかと思えます。そんな方はぜひ学外学修の情報を一度チェックしてみてください！学外学修はギャップタームのみならず、春休みの期間中も参加できるプログラムが多数あります。学外学修センターからウェブサイトやメール等を通じて発信いたしますので、興味を持たれたらぜひ参加してみてください！

さて、前置きが長くなってしまいましたが、2019年度の編集部が作るOff Campus Timesもこれが最後です。編集メンバーも、1年間学外学修に関わり、非常に刺激を受けてきました。2019年度最終号となる本号では、学外学修に参加し就職活動を終えた4年生のインタビュー、これから就職活動を控えている3年生のぶっちゃけ座談会の様子を紹介いたします。本号を通じて編集部の4年生メンバーは、自分たちの就職活動を振り返り、3年生メンバーは、これから始まる就職活動について考えました。編集部計4名のそれぞれ考えたことが違ったように、みなさん一人一人が学外学修を、またそれに繋がる活動についても意識するきっかけとなれば嬉しいです。

1年間ありがとうございました。そして2020年度もOff Campus Timesを、学外学修センターを宜しくお願い致します。

学外学修の活かし方 ～就活編～

今回は、就活を終えた国際関係学科4年生(2020年3月現在)K.Sさんのインタビューです！学外学修の経験が就活にも活かされたそうですが、就活と学外学修のつながりとは何でしょうか。就活中の学生も、就活を控える1,2年生必見です。

参加した学外学修について教えてください。

一経済同友会加盟の銀行での3週間のインターンシップに参加しました。2年生の第2ターム期間での活動でした。世界中に支社がありグローバルに展開している金融業界は、私が夢に見ていたグローバルな仕事を体現していると思い、以前から興味がありました。プログラムの最初の1週間は、リテール(個人向けの営業)の体験をして、残りの2週間はホールセール(企業や政府向けの営業)体験をしました。日系の鉄鋼メーカーのクライアントに対してその鉄鋼メーカーが

より発展していくために私たちが出来ることは何かをグループで話し合い、最終的にプレゼンをしました。

学外学修に参加してみて、興味はより深まりましたか？

—学外学修が終わった後に、自分と金融業界の間にすれを感じました。銀行の役割はお金を企業に投資することがメインで、実体のある”モノ”に携わることが少ないということを知りました。学外学修をしているうちに、商品に携わりたいという思いが強くなり、もしかしたら私は自社製品を持っているメーカーで、それを海外に広めるためにどうしたらよいかというのを徹底的に考えるほうが合っているんじゃないかと思いました。そして「自社製品」「グローバル」「女性活躍」の3点が就職活動の軸になりました。特に「女性活躍」は、「女性を主語にして話しているか」に着目していました。数字で「女性は何人います」と言っている会社はたくさんありますが、実際のところ表で働いているのは男性で、女性は事務作業しかしていない、ということも多いです。

一方で、内定先は女性が働きやすい環境をつくっていることに加えて、津田のOGが海外営業をされていると聞いて、自分の働く姿が想像できました。入社3年目から海外で研修をするチャンスがあるので、そのチャンスを掴みたいと思い、入社を決めました。女性が前に出てお仕事をしているところを見たことで、きっと私が入社しても女性という理由だけでお仕事の幅を制限されることはないのかなと思っています。

学外学修は就活においてどのように活きましたか？

—就活で受ける企業には、それぞれ志望しようと思った理由が必ずあり、その理由は学生時代に経験したことが基になっています。沢山学外学修をして自分の経験値を高めていくことで志望動機の引き出しがたくさんできます。インターンに参加する自分と参加した後の自分の変化に自分で気づくことができたので、そういう面で学外学修は就活に活きたと思います。

ご自身の活動を通じて津田塾生の就職活動やインターンにおける強みは何だと思えますか？

—インターンで津田塾生に会うことはなかったので、インターンでの津田塾生の強みは分からないんですけど、私が見て思うのは「やることをやっている学生が多い」なあとと思います。起業などを掲げる人は少ないかもしれないけれど、大学の日々の課題であったり、ESの1つにしてもすごくこだわって書いている人が多いなと思います。そういうことって当たり前なことだと思うんですけど、大事なことだと思うので、その基本が出来ているというのは、津田生の強みだと思います。

「自分で自分がしていることをどれだけ誇りに思えるか」「なんでも新しいことに挑戦したら、その挑戦したことに対して自分を誇りに思っている」という感覚が大切です。

インタビューを終えて…

K.Sさんは「自分がポジティブな話をしているから、周りの人もポジティブに捉えている」というよう流れを自分自身で作っているのだろうとインタビューを通して感じました。自分の経験を就職活動でのみならず、周りの人にも、どう話して、どう自分がかみ砕いて、どう捉えて、どう発信していくか、というのが大事ですね。このインタビューのロングバージョンは学外学修センターのウェブサイトで公開されています。ニュースレターには書ききれなかったこともたくさんあるので、ぜひウェブサイトをご覧ください！

3年生ぶっちゃけ座談会 ～就活の悩みを解消しよう～

日々寒さが深まりますね。そして、学校でスーツ姿を見かけることも多くなります。そう！就活の時期ですね。就活は誰もが迎えるもの、就活真っ最中の3年生だけではなく、2年生や1年生も不安に思うこともあるのではないのでしょうか。

そこで、今号では就活をテーマにした3年生による覆面座談会の内容を掲載しております。3年生の就活に対する不安や、学外学修でこんなことができてよかったことや、しておけばよかったことなどリアルな内容に迫ります。また、まだ先の就活のためにこれからの大学生活で学外学修をどう活用したらいいかなど、不安を感じる1、2年生にもためになる内容だと思います。是非読んで、これからの学生生活に活用していただけたら幸いです。

【参加者】

みのり (英語英文学科) 以下M

2年生の冬から就活について考え始める。コンサルの早期選考で面接まで進んだがなんか違うな…という思いでいっぱい。本命の選考はまだまだ先で倍率も高いのでさっさと内定を持っておきたいと考えている。

るる (国際関係学科) 以下R

昨年11月のサークルの大会終了後から就活を開始。説明会などに参加し、興味のある企業を絞っている。2年時にはインターンに参加していない。

のぞみ (国際関係学科) 以下N

3年時夏に興味のあったアパレル系のインターンに参加。だが、業界の人と合わないと感じ、今はどうするか考え中。

●就活に対する不安

Nの抱える不安は今まで自分が興味があった業界のインターンに参加し、業界のイメージが違ったことから就活が白紙になってしまったことでした。Nのように就活を何から始めていいかわからない方も多いのではないのでしょうか。Rも同じような悩みを抱えていたようです。ですが、就活を進めるうえで“知らないこと・動いていないことに対する不安”は消えたそう。現1、2年生が抱える不安もこの“知らないこと・動いていないことに対する不安”が大半だと思います。

では、その不安を解消するために、実際就活をいつ意識すべきか、はじめ方は？という話になりました。それぞれ見解は違いましたが、方法はなんであれ”早めに意識するに越したことはない”という点で一致しました(笑)

●早くから就活を始めることの弊害

私(M)は2年の3月ごろからベンチャーの説明会や、企業主催の勉強会に参加していました。就活を意識できるようになったこと、いわゆる”意識高い系”な学生に出会って焦りを感じたことは良かったと思う反面、後悔していることもあります。それは「就活よくわかんないからとりあえず参加してみよう」という気持ちでイベントに足を運んだこと。就活を舐めてました、完全に。自己分析はおろか、志望業界ですら絞り込んで人たちの中に何もしていない人間が行ったらどうなるか…もうわかりますね。尋常じゃないくらい焦ります、自信を無くします。人事の方と早期に話せる機会は貴重ですが、自己分析もできてない状態だとけちょんけちょんにされるのが関の山です。正直時間の無駄でした。就活を早めに意識するに越したことはないというのは事実ですが、闇雲に参加しても意味がありません。目的を持つようにしましょう。

●学外学修と就活 ～きっかけとしての学外学修～

今回座談会に参加した3名の就活が始まったきっかけは多種多様でした。Mは両親からのアドバイス、Rは友人と合同説明会に参加したこと、Nは自身の興味のある業界のインターンへの参加などが挙げられます。座談会で同期と就活について話していく中で、始まり方も進め方も人によりけりで、自由でいいんだと感じました。そのきっかけが学外学修という人もいます。

筆者(R)は、後悔していませんが就活の開始が遅く、1、2年時にインデペンデントスタディなどの学外学修に参加していれば、今の就職活動がより有意義だったのではないかと思います。私自身が過去そうだったように、就活に対して漠然とした不安を抱いている1年生や2年生は、少しでも興味があれば、最初のきっかけとして学外学修に参加してみることをお勧めします！学外学修センターから紹介されているインターンは、単位申請が可能であったり、学外学修センターの先生方やスタッフの皆様からのアドバイスがいただけますし、選考に向けてのES(エントリーシート)は就活に向けての良い練習になります！



学外学修センターの利用方法

- ◇ 学外学修センターは小平キャンパス本館1Fにあります。
(右地図参照)
- ◇ 開室時間は9:00-16:30(お昼休11:15-12:15)です。
※新型コロナウイルスの影響で短縮している場合があります。
- ◇ 問い合わせ・面談希望は上記開室時間にセンターを訪問するか、以下のフォームからお問合せください。
<https://forms.gle/i6GpzddTZEnJwBa36>



(訪問の際は、教員が不在にすることがありますので、時間に余裕を持って連絡してください)

- ◇ 千駄ヶ谷キャンパスについては、学外学修センター教員による相談日を設けています。詳しくはお問合せください。

発行元：津田塾大学 学外学修センター (TEL 042-342-5142)